



# 丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

横浜市立丸山台小学校 学校だより  
5月号  
令和5年4月28日(金)

## 架け橋

校長 倉本 恵

令和5年度の丸山台小学校には、1年生が41名入学し、全校児童は316名となりました。(私が着任した令和3年度4月より、児童数が40名以上少なくなりました)

さて、皆様は「幼保小の架け橋プログラム(文部科学省)」というものを目や耳にされたことはありますか? 「架け橋期」とは5歳児から6歳児の2年間を指します。子どもに関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働し、この時期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で全ての子どもに学びや生活の基盤を育めるようにすることを目指すものです。

本校では4つの保育園と年間を通して、年長児と1年生の交流活動をコロナ前から続けています。今年度は4月25日に本校担当者(1年生担任や教務主任等)と年長クラスの担任や主任の保育士さんが集まり、年間計画を立てたり情報交換をしたりする、「子どもに関わる大人」の交流がまずスタートしました。

この様子を見たり、架け橋プログラムの要綱を改めて読み直したりする中で、前年度の育ちを引き継ぐ時期を架け橋期とみなせば、全学年に架け橋プログラムの理念を活用することもできるのでは、という思いをもちました。

新しい学年のスタートは、前年とは「違うこと」に対する期待と不安に心の振れ幅が大きくなりがちです。(これは子どもだけでなく、大人にも同じことが言えますね。)この1か月、本校に関わる子どもも大人もみんなが、とても頑張ってきた様子をひしひしと感じています。5月は息切れも出る頃。みんなで少し肩の力を抜きながら、新学年の学びや生活の基盤作りを進めていきたいです。

学校では、5月中に今年度の担任と昨年度にその学年に関わった教職員が、育ちの情報交換をする会議を放課後に複数回設定しました。前学年から現学年への架け橋を意識した有意義な時間にする予定です。

4月の集団登校は本日が最終日。子ども班長や副班長、活動を支えてくださった親班長さんや校外委員さんを始めとした保護者の皆様、地域の皆様のご協力ありがとうございました。登校の仕方も、4、5月は架け橋期と言えます。5月1日からは子どもたち各自での登校(1年生は下校も)が始まります。引き続き、いろいろな大人の日や声で子どもたちの安全な登下校を支えていただければ幸いです。



4/26 雨の中の集団登校もスムーズでした

### 【おしらせ】

お子さんが新型コロナウイルス陽性や濃厚接触者と診断されたり、PCR検査や抗原検査等を受けることになったりしたときは、学校への電話連絡をお願いします。なお連休中(5/3～5/7)の連絡は、学校だより中面をご覧になり、「ロイロノートスクールアカウント」を使用した出欠連絡でお知らせください。

5月8日以降の連絡内容や方法等については、教育委員会から通知が発出され次第、メール配信にてお知らせします。

### 訃報

本校歯科校医 金子慎一郎先生が、令和5年4月11日にご逝去されました。

金子先生は平成24年度から本校の歯科検診や就学時健診等で、丁寧に本校児童に関わって下さいました。長年のご勤務に感謝し、ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

